



2017年度

第2四半期決算 補足説明資料

2017年11月9日

パイア株式会社



1.2017年度 第2四半期 業績の概要

2.2017年度 業績の見通し



▶ 1. 2017年度 第2四半期 業績の概要

2. 2017年度 業績の見通し

1) 決算のポイント



音楽、スポーツ等を中心とするエンタメ市場の活況を背景に、売上高は業績予想以上に伸長するも、人気興行の獲得経費増による粗利幅の減少、販管費増を受け、経常利益は予想値に届かず。特に今期は、セキュリティ強化に向けた組織・システム両面での緊急対策を実施。これら投資対応費用を、他事業において補完できるだけの利益アップを目指したが、想定には達せず。

⇒ネット販売を中心にチケット売上は好調を継続しており、販管費の抑制により利益目標の達成を目指す。ただし、来期以降もシステム基盤の強化と安定化に向けた重点投資は継続の見込み。

2) 期初予想との比較



[単位:百万円]

	期初予想 (5/10発表)	業績修正 (11/2発表)	2017年度 実績	期初予想との差
売上高	77,500	86,200	86,225	+8,725
営業利益	900	670	674	▲225
経常利益	900	670	680	▲219
親会社株主に帰属する 四半期純利益	600	440	442	▲157

3) 連結損益計算書 (要約)



[単位:百万円]

	【前年度】	【2017年度】	【前年比】
売上高	77,641	86,225	+8,583
売上原価	71,299	79,809	+8,510
差引売上総利益	6,341	6,415	+73
販管費	5,265	5,740	+474
営業利益	1,075	674	▲401
営業外収益	36	14	▲22
営業外費用	25	9	▲15
経常利益	1,087	680	▲407
特別利益	-	8	+8
特別損失	-	-	-
税引き前四半期純利益	1,087	689	▲398
法人税等合計	353	246	▲107
少数株主利益			
親会社株主に帰属する 四半期純利益	734	442	▲291
四半期包括利益	733	453	▲279

4) 連結貸借対照表 (要約)



[単位:百万円]

資産の部		
	【前期末】	【2017/9末】
現預金	18,851	22,081
売掛金等	17,013	15,264
商品等	135	74
その他	2,556	2,948
流動資産：前期末比 1,812増		
流動資産	38,556	40,368
有形固定	680	592
無形固定	2,187	2,665
投資その他	1,351	1,355
固定資産：前期末比 393増		
固定資産	4,219	4,613
資産合計	42,776	44,981

負債の部		
	【前期末】	【2017/9末】
流動負債：前期末比 2,736増		
流動負債	34,176	36,913
固定負債	623	614
負債合計	34,800	37,528
純資産の部		
資本金	4,621	4,625
資本剰余金	792	806
利益剰余金	3,361	3,575
自己株式	▲790	▲1,553
他包括利益	▲76	▲73
少数株主持分	66	74
純資産合計	7,975	7,453
負債・純資産合計	42,776	44,981

5) 連結キャッシュ・フロー計算書 (要約)



[単位:百万円]

	【前年度】	【2017年度】	【前年比】
営業活動による キャッシュ・フロー	2,119	5,117	+2,998
投資活動による キャッシュ・フロー	▲1,098	▲880	+218
財務活動による キャッシュ・フロー	▲373	▲1,006	▲633
現預金及び現金同等物の 増減額 (▲は減少)	647	3,230	+2,583
現預金及び現金同等物の 期首残高	15,110	18,851	+3,740
現預金及び現金同等物の 四半期末残高	15,757	22,081	+6,324

6) 上期の主な取り組み



◆横浜みなとみらい地区に 大型音楽アリーナの設立を発表

収容客数 1 万人規模の大型コンサートアリーナを建設し、ホール・劇場の運営事業に着手することを発表しました。アリーナの開業は2020年春を予定しており、東京五輪開催等で予想される、エンタメ会場不足という社会的課題の解決策の一つとして主体的に取り組みます。



◆ラグビーW杯2019の チケットング業務の運営を受託

ラグビーW杯2019日本大会において、本大会の組織委員会より、チケットングサプライヤーとして業務の発注を受け、9月には当社がその運営を行う公式チケットサイトをオープン。本大会においても、これまでの当社の経験と実績を生かし、最大限に貢献していきます。



◆平昌冬季オリンピックにおいて 国内観戦チケット販売の総代理業務を受託

平昌冬季五輪における「チケットディストリビューター」として、同大会の国内分観戦チケット販売の日本の総代理店の役割を担い、チケットの管理、日本国内取扱い指定旅行会社への配券、販売・プロモーション等の企画立案から実施までをトータルに行います。



◆業界初公式チケットトレードリセール 「チケトレ」スタート

日本音楽事業者協会、日本音楽制作者連盟、コンサートプロモーターズ協会などの業界団体より当社が運営を受託した、業界団体公式のチケットトレードリセールサービス「チケトレ」を6月にリリース。高額転売問題に対する新たなソリューションを提供します。



6) 上期の主な取り組み



◆ PFFが一般社団法人化

1977年にスタートしたPFFを一般社団法人化。約60社に及ぶ企業、業界団体からの協賛、ぴあからの10億円の基金を元に、「若い才能の発掘と育成」の継続と発展を目指します。

▼ 第39回PFFの授賞式の模様



◆ チームスマイル

「“わたしの夢”応援プロジェクト」継続中

当社が参画する震災復興活動「チームスマイル」では、豊洲、いわき、仙台、釜石にある4つのホール「PIT」を拠点に、被災地の子どもたちの夢を応援するプロジェクトを継続的に実施しています。



◀ Vol.10
和田秀樹さん
(7/29 いわき)



Vol.11 ▶
ちばてつやさん
(9/2 いわき)

◆ 譲渡制限付きRS制度を全社員に付与 記念配当、長期保有株主向け優待も

創業45周年を機に、執行役員以下、当社社員全員を対象とした、譲渡制限付株式（リストラクテッドストック）付与制度を導入。当社社員全員が株主の視点を持って業務にあたり、企業の長期

的存続を目指します。また、第2四半期末には3円の記念配当、10年以上の長期保有株主の皆様には記念優待品もお贈りします。



◀ 長期保有株主に贈られる当社キャラクター「びっけろ」「くまっびー」のぬいぐるみセット

◆ ぴあ総研の調査編集による

「ライブ・エンタテインメント白書」発行

会場不足問題が影響し、2016年の市場規模は5,015億円で、前年比2.0%減と5年ぶりの前年割れとなるも高水準を維持。音楽、ステージいずれの分野においても公演活動は依然活発です。





1.2017年度 第2四半期 業績の概要

▶ 2.2017年度 業績の見通し



通期予想は、現時点では据え置き。

[単位:百万円]

【連結PL】	上期		通期	
	【16実績】	【17実績】	【16実績】	【17予想】
売上高	77,641	86,225	152,812	155,000
営業利益	1,075	674	1,789	1,800
経常利益	1,087	680	1,679	1,800
当期利益 [※]	734	442	974	1,200
1株あたり配当金	—	3円	16円	20円 (記念配当3円含む)

※親会社株主に帰属する当期純利益です。